

リーディングDXスクール事業【実践事例】

川崎市立南河原小学校

【取組内容⑤】 授業を公開し、地域内外に実践を発信

市内、市外、海外に向けた11回の授業公開、オンラインによる講師の講演の公開を通して、実践を発信。

	日付	内容	公開先
1	7/4	海外からの授業視察	アジア諸国 約20名
2	7/4	校内授業研究会、講演のオンライン配信	市内
3	7/19	授業公開	市内
4	10/19	校内授業研究会	市内・市外
5	10/26	校内授業研究会	市内・市外
6	11/10	授業公開	市外
7	11/21	校内授業研究会	市内
8	12/5	校内授業研究会	市内
9	12/19	全クラス公開授業、講演のオンライン配信	市内約100名 市外約60名
10	1/26	校内授業研究会	市内
11	2/16	授業公開	市外

12/19 全クラス公開授業 申込から指導案まで全てクラウドで

- **申込**
アンケートフォームを利用
- **受付**
二次元コードによるフォーム入力による受付
- **指導案**
先生方が他者参照しながらスライドで作成
- **研究協議**
ディスカッションフォームを通してスプレッドシート上でも非同期に研究協議
- **振り返りアンケート**
二次元コードによるフォーム入力による振り返り



参加した先生たちの声

各授業でめあての共有や意見のアウトプットなど様々な場面で1人1台端末が活用されており、先生方が普段から授業改善の中で端末の活用挑戦されている姿を見ることができました。授業を通して子供たちに身に着けてほしい力を明確にし、これからの社会の創り手となるよう、不断の授業改善が行われているのだと感じました。